

学校教育目標	○しっかり考える子(問題解決力) ○心やさしい子(人間関係形成力) ○つよく元気な子(体力・活力)	【目指す学校像】	○児童にとって充実した学校 ○保護者にとって信頼できる学校 ○教職員にとって働きがいのある学校
		【目指す児童・生徒像】	○思考力・判断力・表現力を身に付けた子ども○感性あふれる豊かな心をもつ子ども ○すすんで心と体を鍛えることができる子ども
		【目指す教師像】	○ありのままの児童を受け止め、個性を發揮させる教師 ○授業で勝負できる教師 ○家庭・地域との相互理解を深め協働できる教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	取組の進捗状況	今後の方向性	
確かな学力	○基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに主体的・対話的で深い学びによる授業改善を目指す。	○ICTを活用した授業を充実させ、児童の「情報活用能力」の育成を図る。 ○読書活動の推進と言語能力の育成に向け、学校司書及びボランティアが連携し、子供たちの読書活動の一層の推進を図る。	○児童が主体的に学習に励み、3つの資質能力の育成を図れるよう問題解決能力の育成を図る。	4   全教員がアンケートを実施した。 3   80%～100%未満の教員がアンケートを実施した。 2   70%～80%未満の教員がアンケートを実施した。 1   70%未満の教員がアンケートを実施した。	4	4   HQU調査で70%以上の児童が肯定的な回答をしている。 3   HQU調査で70%未満～80%の児童が肯定的な回答をしている。 2   HQU調査で60%未満～50%の児童が肯定的な回答をしている。 1   HQU調査で50%未満の児童が肯定的な回答をしている。	2	今年度の校内研究を学級経営を柱に進めている。年度初めに昨年度の学力テストの分析や1学期に実施したHyperQUの分析などをもとに各学年の実態を分析した。学年間で意見交流し、学校全体の課題とその改善策を検討し、今年度の研究や各学級での取組や指導や授業改善に活用している。	2学期に実施するHyperQU、3学期に実施する東京都や全国の学力調査の結果の向上に向け、授業改善推進プランの作成したり、学年間の情報共有を図り、改善につなげたい。	
			○各学年で沼島市から示されている「子供たちに身に付けさせたいICT操作能力」を把握し、資質能力の育成を目指す。	4   全教員が教員が身に付けさせたいICT操作能力を把握し、指導している。 3   80%～100%未満の教員が身に付けさせたいICT操作能力を把握し、指導している。 2   70%～80%未満の教員が身に付けさせたいICT操作能力を把握し、指導している。 1   70%未満の教員が身に付けさせたいICT操作能力を把握し、指導している。	4	4   90%以上の児童がICT操作能力を身に付けている。 3   80%～90%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。 2   70%～80%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。 1   70%未満の児童がICT操作能力を身に付けている。	未	1学期には、「子供たちに身に付けさせたい情報活用能力」について教員間で情報共有を図った。2学期末に実態調査の実施の予定。昨年度に引き続き、教員のタブレット活用場面も増えてきたことで、児童の活用場面も増え、学習用具のツールとして使用する場面がよく見られるようになってきた。	今後は低学年もタブレットを活用する場面を増やし、情報活用能力の育成につなげていきたい。情報モラルについても指導をしていきたい。	
			○学校司書が中心となり、ボランティアや委員会の活動等と連携を図り、子供たちの読書活動の一層の推進を行う。	4   各学級で図書室を月4回以上使用した。 3   各学級で図書室を月3回以上使用した。 2   各学級で図書室を月2回以上使用した。 1   各学級で図書室を月1回以下使用した。	2	4   90%以上の児童が2週に1度以上図書室を利用している。 3   80%～90%未満の児童が2週に1度以上図書室を利用している。 2   70%～80%未満の児童が2週に1度以上図書室を利用している。 1   70%未満の児童が2週に1度以上図書室を利用している。	未	図書室の利用状況は、現在調査中。昨年度は平均すると月3回であり、低学年のほうが積極的に利用できている状況であった。今年度は、読書旬間の活動では高学年も積極的ににはたらかせていることから、その成果が数値として表れるよう期待したい。	昨年度に続き、定期的な図書室利用が習慣化するようきつかけづくりに向け、授業での活用や様々な文獻に触れ合う機会を計画的に設定していく。	
			○児童の自己肯定感を高め、常に相手のことを考え行動することができるようにする。	4   全教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。 3   80～100%の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。 2   70%から80%未満の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。 1   70%未満の教員がアンケートから個々の児童に応じた指導を行った。	4	4   学級生活満足度が50%以上 3   学級生活満足度が40%以上 2   学級生活満足度が30%以上 1   学級生活満足度が30%以下	3	昨年度と同様に、1学期のアンケート実施後の数値は平均して8割程度。児童が「自己肯定感がある」と答えている。月2回、生活指導会議等で各学年ごとに結果をもとに分析をし、トラブルの未然防止や生活改善に向けて情報共有を進めている。	数値から分かる児童の実態と、校内研究で進めている学級経営を関連させた上で、保護者との情報共有を図り、改善に向けて連携を図ってきたい。	
豊かな心	○相手の気持ちを想像し、人との関わりを大切にできる豊かな心を育成する。	○道徳科を道徳教育の要の時間と位置付け、教科横断的な視点で各教科にて、計画的に指導し、道徳教育の一層の充実を図る。 ○年3回の学校生活アンケートからみんながよりよく生活できるために関するアンケート項目を設定し、実施する。 ○いじめを許さない心情を育て、いじめの早期発見解決に努める。	○教員横断的な視点で、年間指導計画に位置付け、道徳教育を行った	4   全教員が各教科と関連付け、道徳教育を行った 3   70%～100%の教員が各教科と関連付け、道徳教育を行った 2   40%～70%の教員が各教科と関連付け、道徳教育を行った 1   40%未満の教員が各教科と関連付け、道徳教育を行った	4	4   学校生活アンケート調査の関連項目から90%以上 3   学校生活アンケート調査の関連項目から70%以上 2   学校生活アンケート調査の関連項目から50%以上 1   学校生活アンケート調査の関連項目から30%以上	3	道徳推進教員を中心に道徳授業地区公開講座に向け、実態調査や意識調査を2学期末に実施する予定である。各教科との関連を意識して道徳教育を行った教員の調査や道徳の授業の振り返りについて2学期末の調査に向け、職員を連携してしている。	道徳授業地区公開講座に向けて、元オンラインピック選手(水泳)を講師にお招きし、「努力・夢の実現」等のテーマで講演をしていただけるよう準備を進めている。	
			○年3回の学校生活アンケートからみんながよりよく生活できるために関するアンケート項目を設定し、実施する。	4   全教員がいじめの定義に関する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。 3   80～100%未満の教員がいじめの定義に関する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。 2   70%～80%未満の教員がいじめの定義に関する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。 1   70%未満の教員がいじめの定義に関する共通理解に関する項目を理解し指導を行った。	4	4   学校生活アンケート調査の関連項目から90%以上 3   学校生活アンケート調査の関連項目から70%以上 2   学校生活アンケート調査の関連項目から50%以上 1   学校生活アンケート調査の関連項目から30%以上	3	学級満足度調査の結果をもとに全学級で分析を実施。分析したことをもとに心理士から助言を受け、学校生活に生かせるようにしている。11月には2回目を実施し、冬休み中に再度、心理士から助言をいただく機会を設定している。	今年度の校内研究とも関連させ、詳しい分析方法やさまざまな構成的グループエンカウンターなどの研修を実施し、各学級で実践できるような機会を設定する。	
			○体力向上プロジェクトや様々なわが長なわの取組を実施し、運動することの楽しさやよさを味わわせる。	4   全教員が計画を活用した指導を行った 3   80%～100%未満の教員が計画を活用した指導を行った 2   70%～80%未満の教員が計画を活用した指導を行った 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った	4	4   調査結果が昨年比平均ポイントから+2ポイント以上 3   調査結果が昨年比+2ポイント以内 2   調査結果が昨年比-2ポイント以内 1   調査結果が昨年比-2ポイント以内	2	児童の体力・運動能力向上と運動の習慣化を目指して、全校で同じ運動を取り組む週間に取り組んでいる。今年度は運動委員が中心になり、休み時間に体力テストの種目ができるよう活動内容を工夫して取り組む場と時間を設定した。今後、体力テストの調査結果をもとに分析していく。	体力テストの結果から本校の課題を見直すとともに、体力向上部を中心に、年間指導計画と年間を通じた全校の体育的行事に関する取組の改善を検討していく。	
			○毎学期実施する「すまいるカード」の取組の結果を集計し、その結果を集計・分析し、日々の指導改善に努める。	4   全教員が計画的な指導を実施した 3   80%から100%未満の教員が計画的に指導した 2   70%から80%未満の教員が計画的に指導した 1   70%未満の教員が計画的に指導した	4	4   90%以上の児童が目標を達成している 3   80%～90%未満の児童が目標を達成している 2   70%～80%未満の児童が目標を達成している 1   70%未満の児童が目標を達成している	3	1学期や夏休み明け、9月の2週目と昨年度に引き続き、すまいるカード(グッドモーニング60)の取組を実施している。前回の取組から得られた結果や児童・保護者の意見を集約したお便りの配布や、身体測定時に行う養護教諭からの保健指導を実施している。	引き続き、グッドモーニング60の取組をきつかけに日頃からの生活習慣や排他習慣など身に付けていく児童だけでなく、保護者にもその重要性を発信していく。	
健やかな体	○自分の心と体の健康に関心をもち、基礎的な体力と心身の育成と向上を図る。	○学校給食やお弁当の日を通して食の大切さを考えさせる。 ○食に関する望ましい食習慣の形成を促進する。	○体力向上プロジェクトや様々なわが長なわの取組を実施し、運動することの楽しさやよさを味わわせる。	4   全教員が計画を活用した指導を行った 3   80%～100%未満の教員が計画を活用した指導を行った 2   70%～80%未満の教員が計画を活用した指導を行った 1   70%未満の教員が計画を活用した指導を行った	4	4   90%以上の児童が食育のめあてを達成している 3   80%～90%未満の児童が食育のめあてを達成している 2   70%～80%未満の児童が食育のめあてを達成している 1   70%未満の児童が食育のめあてを達成している	未	今年度2回目の「お弁当の日」を実施。年3回のお弁当の日(食育の日)だけでなく、日々の授業や外部講師との授業を調整中。昨年度に引き続き準備を進めている。	日々の授業や外部講師との連携を図り、多方面から食育を進められるよう教育課程を見直していきたい。	
			○規則正しい生活と健康・安全に留意できる児童の姿を目指す。	4   全教員が食育計画を活用した指導を行った 3   80%～100%未満の教員が食育計画を活用した指導を行った 2   70%～80%未満の教員が食育計画を活用した指導を行った 1   70%未満の教員が食育計画を活用した指導を行った	4	4   90%以上の児童が食育のめあてを達成している 3   80%～90%未満の児童が食育のめあてを達成している 2   70%～80%未満の児童が食育のめあてを達成している 1   70%未満の児童が食育のめあてを達成している	未	今年度2回目の「お弁当の日」を実施。年3回のお弁当の日(食育の日)だけでなく、日々の授業や外部講師との授業を調整中。昨年度に引き続き準備を進めている。	日々の授業や外部講師との連携を図り、多方面から食育を進められるよう教育課程を見直していきたい。	
			○毎学期実施する「すまいるカード」の取組の結果を集計し、その結果を集計・分析し、日々の指導改善に努める。	4   全教員が計画的な指導を実施した 3   80%から100%未満の教員が計画的に指導した 2   70%から80%未満の教員が計画的に指導した 1   70%未満の教員が計画的に指導した	4	4   90%以上の児童が目標を達成している 3   80%～90%未満の児童が目標を達成している 2   70%～80%未満の児童が目標を達成している 1   70%未満の児童が目標を達成している	3	1学期や夏休み明け、9月の2週目と昨年度に引き続き、すまいるカード(グッドモーニング60)の取組を実施している。前回の取組から得られた結果や児童・保護者の意見を集約したお便りの配布や、身体測定時に行う養護教諭からの保健指導を実施している。	引き続き、グッドモーニング60の取組をきつかけに日頃からの生活習慣や排他習慣など身に付けていく児童だけでなく、保護者にもその重要性を発信していく。	
			○食に関する望ましい食習慣の形成を促進する。	4   全教員が食育計画を活用した指導を行った 3   80%～100%未満の教員が食育計画を活用した指導を行った 2   70%～80%未満の教員が食育計画を活用した指導を行った 1   70%未満の教員が食育計画を活用した指導を行った	4	4   90%以上の児童が食育のめあてを達成している 3   80%～90%未満の児童が食育のめあてを達成している 2   70%～80%未満の児童が食育のめあてを達成している 1   70%未満の児童が食育のめあてを達成している	未	今年度2回目の「お弁当の日」を実施。年3回のお弁当の日(食育の日)だけでなく、日々の授業や外部講師との授業を調整中。昨年度に引き続き準備を進めている。	日々の授業や外部講師との連携を図り、多方面から食育を進められるよう教育課程を見直していきたい。	
輝く未来	○子どもたちが自立できる基礎を培う。また、日本の伝統・文化の良さを理解し郷土を愛する態度を育成する。	○幼保・小中が連携し、児童が安心して進級・進学できるようにする。 ○教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。 ○家庭・地域の声を活かすとともに学校の教育活動を情報発信していく。	○幼保・小中が連携し、児童が安心して進級・進学できるようにする。	4   全教員が方策を実施した 3   80%～100%未満の教員が方策を実施した 2   70%～80%未満の教員が方策を実施した 1   70%未満の教員が方策を実施した	4	4   80%以上の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 3   80%～90%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 2   70%～80%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。 1   70%未満の児童がキャリアアルバムを書き、成長の記録を残した。	未	年度始めの職員会議でキャリアアルバムのねらいと作成方法について共有した。学期ごとのめあてや運動会や文化行事などの行事のめあて、振り返りについても全学年で実施し、ファイリングしている。	つつが丘小学校と瑞雲中学校との連携を密にし、小中一貫した取り組み方やキャリアアルバムのねらいについての情報共有を進めていく。	
			○教育活動を通して外部人材と交流体験できるようにする。	4   全学年の教員が交流体験を実施した 3   80%～100%未満の学年・教員が交流体験を実施した 2   70%～80%未満の学年・教員が交流体験を実施した 1   70%未満の学年・教員が交流体験を実施した	3	4   全学年で外部人材を活用した授業を行った。 3   9学級以上で外部人材を活用した授業を行った。 2   6学級以上で外部人材を活用した授業を行った。 1   4学級以上で外部人材を活用した授業を行った。	2	各学年のセーフティ教室をはじめ、3年生では地域の方との授業や花いっぱい運動、5年生では環境に関する出前授業を実施。6年生では伝統芸能や人権教育の出前授業を計画したりしている。各学年の発達段階や授業内容に関連する授業等を取り入れられている。	年間計画に位置付けて、年度が変わっても計画の見直しをもって取り組むようにし、キャリア学習・マネジメントを実践し、児童の活用を促す。	
			○家庭・地域の声を活かすとともに学校の教育活動を情報発信していく。	○学校HPや学校だより等を通じて保護者や地域に向けて児童の活動等を発信したり、行事や学校公開の機会にアンケートを取り、改善を図っていく。	4   各行事の実施を受け、すべての行事でアンケートを実施した。 3   各行事の実施を受け、7割程度の行事でアンケートを実施した。 2   各行事の実施を受け、5割程度の行事でアンケートを実施した。 1   各行事の実施を受け、3割程度の行事でアンケートを実施した。	4	4   80%以上の保護者が教育活動への理解を示している。 3   50%以上の保護者が教育活動への理解を示している。 2   20%以上の保護者が教育活動への理解を示している。 1   20%未満の保護者が教育活動への理解を示している。	未	学校長が中心となり、行事に加え、ふだんの授業の様子や休み時間の様子について毎週定期的にホームページを更新し、保護者や地域に向けて情報を発信している。また、昨年度、行事での反省で上がった保護者からの声を今年度の実施方法に生かせるよう、準備を進めている。	保護者の教育活動への理解度は、行事でのアンケートや2学期末に実施する市のアンケートの結果をもとに図る。